



令和3年度PTA総会が開催～新役員のみなさま、よろしくお願ひします～



4月24日(土)、今日はPTA総会。保護者の方々は1時間目の授業を参観していただき、2時間目から総会が始まりました。そこで、R2会計決算書と活動報告、R3予算と活動計画と支部PTAの廃止が承認されました。また、新PTA会長に堀内尚彦様が就任し、新役員体制もほぼ固まりました。



令和3年度蓼科高等学校PTA役員一覧

会長	副会長	副会長	監事
堀内尚彦(3年)	尾美哲也(2年)	大島恵梨奈(1年)	大坪俊介
副会長	副会長	監事	監事
三井英樹(3年)	市川亜紀(2年)	滝澤典一	大角昌和

「地域Ⅱ」 打ち合わせ会議 ～「探究的な学び」の手法を学ぶ～



4月22日(木)、3年地域・環境デザインコースで行う「地域Ⅱ」の年間計画の仕込みを行うために、私は担当の先生と高大連携協定を結んでいる長野大学へお邪魔しました。迎えてくださったのは、副学長の山浦和彦先生でした。

この科目は、2年次に学習し体験した立科町についての知識をもとに、地域の課題を見出して解決方法を模索し発表するPBL(課題解決学習)プログラムです。立科町に限らず

現在地方の根本的課題である少子高齢化問題。そのひとつである、「空き家問題」に焦点を当て、地域の発展を考えていくことを年間テーマに設定しました。

山浦先生は、年間を通し生徒がいかにか自分のこととして課題をとらえ、発展させることができるか、そのノウハウを中心に指導してくださいました。事前の「仕込み」の大切さ、生徒の意識を振り返りから次のステップへ向かわせる連続性の重要さなど、とても有意義で勉強になった機会でした。

困ったお話(その34) (私は無実だ～！)

いよいよゴールデンウィークだ。私にとって連休は、冬に向けてのストーブ薪の確保が大きな仕事だ。以前は知り合いや教え子のリンゴ農家や山林持ちの家へ、おやきを手土産に週末もらいに行ったものだ。

ある年、リンゴ栽培をやめる農家の果樹園でリンゴの木を切り倒しているとき、1台のシルバーのセダンが止まった。中から2人の刑事さんが現れ、私の軽トラをチェックしだした。そして私に近づきこういった。

『あなたは○月△日18:00頃、どこにいましたか?』 えっ、何か疑われている? 緊張が走った。

『えーっと、うーんっと、ああ、その時は職場にいました。』と、困ってしどろもどろに答えた。この態度がよけい不信を買ったらしい。根ほり葉ほり訊かれた後、2人は帰って行った。ああ怖かった。何だろう?

のど元過ぎれば忘れていた次の休日、村内の寄り合いから帰宅すると、妻が驚いた風に言ってきた。『お父さん、刑事さんがずっとあなたの軽トラを見張ってて、さっき帰っていったわよ。』

ええっ?! もしやと思って軽トラを見てみた。そういえば半年前に、電柱に前部をぶつけたために、バンパーが少しへこんである。これが何かに疑われている? それにしてもなぜ帰ったのだろうか?

翌日、新聞を見て納得。私と同型の軽トラで起きた事件での犯人逮捕の記事だった。



後で妻に言われた。『てっきり、やったと思っていた。』